

市議団速報

HP <https://jcp-niigata-shigidan.com> No.316



2023年3月13日
日本共産党新潟市議会議員団

電話 025-226-3450

FAX 025-223-7748

Mail jimukyoku@jcp-niigata-shigidan.com

3月議会

新型コロナウイルス5類移行後の対応、保育料無償化の拡充、補聴器助成で質問

飯塚孝子議員が一般質問



一般質問を行う飯塚議員

日本共産党市議団の飯塚孝子議員は7日、新型コロナウイルス5類以降の対応や保育問題等について一般質問を行いました。その大要は次の通りです。

新型コロナウイルス5類移行後の対応について

飯塚議員は、岸田政権が新型コロナウイルスの感染法上の位置づけを5月8日から「5類」に引き下げたことを決めたことについて、さまざまな危惧を示しつつ、5類移行後の発熱患者受け入れ医療機関数、高齢者施設入所者の感染及び重症化対策について質問しました。このなかで飯塚議員は、新潟市の高齢者施設でのクラスター件数は59件、第8波で亡くなった人は91人で、コロナで亡くなった176人の半数を占めることを示しました。ある特養ホームの施設長の「介護で密着は避けられず、4

人部屋が多く隔離にも限界がある」との声を紹介し、高齢者施設の感染対策と重症化対策は、5類に緩和したとしても、2類相当の特段の対応が必要と強調しました。そして、抗原検査キットは無料配布を継続すること、高齢者は原則入院治療すること、クラスター発生対策で必要な対策をおこなうことを求めました。

夏目保健衛生部長は、高齢者施設等への検査・医療支援は当面継続が見込まれていること、県と連携し、すべての入所施設を対象に実態調査を行っており、今後の対策にいかしていくと答弁しました。

必要な後遺症対策

飯塚議員は、感染者の1割が罹るといわれている後遺症について、岡山大学病院の調査で、睡眠障害や倦怠感がデルタ株より大幅に増え、後遺症は長期化する傾向があると指摘されており、市として後遺症の実態調査と必要な対策を求めました。

夏目部長は、「相談は、保健所内に設置した受診・相談センターでお聞きし、かかりつけ医や症状に応じた診療科受診を案内している」との答弁にとどまりました。

保育料無償化対象のさらなる拡充を

飯塚議員は、これまで共産党議員団が求め、昨年の市長選挙で中原市長の公約となり、令和五年度予算案に盛り込まれた「第3子以降の保育料無償化の対象条件拡大」の拡充効果を質問すると同時に、無償化の対象とならない三歳未満児への無償化の拡充を求めました。

小柳こども未来部長は、「新たに450人の保育料が無償となり、3歳未満児全体では、無償は2080人となり、無償対象外は7320人となる見込み」と答弁すると同時に、さらなる拡充については「国に対して指定都市市長会の緊急提言として要望を行っており、国の動向を注視したい」としました。

補聴器購入費助成の年齢制限撤廃を

飯塚議員は、新潟市が令和4年度から試行的実施している50歳〜74歳を対象とした補聴器購入助成について、試行的実施の目的を質問すると同時に、世界16カ国の調査で補聴器が必要と感じた年齢について中央値が72歳であり、75歳以上が約4割をしめていると指摘し、市が試行している支援対象が74歳まででは、支援の必要な人の補聴器取得をさらに遅らせること

になるとし、購入費助成の年齢制限を撤廃して、加齢性難聴に対応する環境整備をはかるべきと迫りました。

夏目保健衛生部長は、「補聴器を適切に使用することにより、コミュニケーション能力の維持・向上に効果が得られるか試行的に実施するもので、これまで200件ほどの申請があった」とし、「認知症対策において中年期の難聴対策が有効との研究結果等を参考にしている。単に補聴器の購入を助成するのではなく、中程度難聴者の補聴器使用による、認知症予防効果の検証につなげる保健事業の位置づけ」であり、「対象年齢の上限撤廃は、今後の検討課題」と答弁しました。

東区にスケートボード広場を

飯塚議員は、オリンピックで一躍注目を集めたスケートボードは、小学生から若者の間で火が付き、周辺住民との間で、騒音等の苦情にもなっている。保護者からは、スケートボードができる広場を設置してほしいとの声が寄せられている。市内には、北区中央区にスケートボードパークが設置されており、東区にも設置するよう求めました。

石井東区長は、「県が中央区の県スポーツ公園内にスケートボードパークを整備し、7月にオープン予定となっている。東区への設置は、ニーズの把握や安全性の確保等十分な協議・検討が必要であり、研究していきたい」との答弁にとどまりました。